

**1.** Cinderella, R, Maxima をインストールする.

- <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)
- <https://cran.r-project.org> (R)
- <https://sourceforge.net/projects/maxima/files> (Maxima)
  - v5.38.0 以前の方が v5.40.0 以降より軽い.
- <https://www.sumatrapdfreader.org/download-free-pdf-viewer.html> (Sumatra)
  - 注) Sumatra は Windows だけである.

注) ダブルクリックして, 起動するかを確認する.

**2.** TeX をインストールしていない場合はインストールする.

## (1) TeXLive を推奨

- 2018 以降では ketcindy が既に入っている.

## (2) KeTTeX は TeXLive の軽量版

- kettex.exe を以下からダウンロードできる.
  - <https://www.dropbox.com/s/fthw4btjqqs33tc/kettex.exe?dl=0>
- ダブルクリックしてできる kettex を C:\に入れる.

## (3) 他の TeX の場合は, 3.(2) を参照する.

**3.** KeTCindy のインストール(1) ketcindy を CTAN(<https://ctan.org>) からダウンロードする.

ketcindy で検索 > Package ketcindy > download

注) 最新版は, Repository のサイト

<https://github.com/ket-pic/ketcindy>

から以下のようにダウンロードできる.

Clone or download > Download ZIP

この場合は, ketcindy-master になる.

注) 解凍してできるフォルダをデスクトップに移動する.

## (2) ketcindy(-master)/forWindows を開く.

注) Windows10 の場合, セキュリティブロックを解除する.

右クリックして「プロパティ」>「セキュリティ」>「許可」

注) 他の TeX (TeXLive, W32tex 以外) を使っている場合

- setketcindy.bat をテキストエディタで開く.
- パスを修正する.

## (3) 次のバッチファイルを右クリック「管理者として実行」を選ぶ.

KeTTeX	setketcindy.bat
TeXLive	setketcindytexlive.bat
W32TeX	setketcindyw32J.bat
他の TeX	setketcindy.bat (要修正)

- scripts の中身が TeX にコピーされる
- ketcindy の style ファイルが TeX にコピーされ mktexlsr が実行される.
- Cinderella の Plugins に KetcindyPlugin.jar をコピー, ketcindy.ini が作成される.

#### (4) setwork.bat をダブルクリック

- ・ 作業ディレクトリ ketcindy がユーザホームに作成される。
- ・ タイプセットの方法 (TeX の種類)
  - 通常は, platex (p) または uplatex(u) を選ぶ。
- ・ R, Maxima では, バージョン番号 (3.4.2, 5.37.3 など) を入れる。
- ・ ketcindy フォルダに work フォルダの中身がコピーされる。
- ・ .ketcindy.conf (編集可能) がユーザホームに作成される。
  - 注) TeX を切り替えるときなどはこのファイルを修正する。
- ・ マニュアルもコピーされる。
- ・ 作業ディレクトリに ketcindy.conf の雛形がコピーされる。
- ・ KeTCindy を立ち上げたとき, 設定ファイルは次の順に読み込まれる。
  - 1) ketoutset.txt
  - 2) ユーザホームの .ketcindy.conf
  - 3) 作業ディレクトリ ketcindy の ketcindy.conf

#### 4. KeTCindy のテストラン

- (1) 作業ディレクトリ ketcindy を開く。
- (2) ketcindy 中の template1basic.cdy を選び, 「情報を見る」を開く。
  - ・ アプリケーションが所定の Cinderella2 になっていることを確かめる。
  - ・ 「情報」を閉じて, template1basic.cdy をダブルクリックする。
  - ・ 画面に白い枠が出れば, ライブラリの読み込みは成功。
- (3) スクリーンの左上にある Figure ボタンを押して, PDF が表示されれば成功。

注) PDF の表示後, ターミナル画面を閉じるようにするには

- ・ アプリケーション / ユーティリティ / ターミナルを開く
- ・ トップメニューから
  - ターミナル > 環境設定 > (プロファイル) > シェル
  - 「シェルが正常に終了した場合閉じる」を選択

#### 5. TeXworks の設定 (kettex の場合)

- ・ <https://github.com/TeXworks/texworks/releases/> からダウンロードできる。
- ・ TeXworks を立ち上げる
- ・ TeXworks > ファイル > 設定 > タイプセット
- ・ 上の欄 (パス) に以下を追加
  - C:\kettex\texlive\bin\win32
  - 注) 上の行を上欄の先頭になるように移動する。
- ・ 下の欄の横にある + をクリック
  - ・ 名前: uplatex(ptex2pdf) または platex(ptex2pdf)
  - ・ プログラム: ptex2pdf
  - ・ 引数:
    - u (uplatex の場合のみ)
    - l
    - ot
    - \$synctexoption
    - \$fullname

OK ボタンを押し、デフォルトを変更して OK ボタンを押し。

## 6. gcc のインストール

- ・ 曲面描画のためには, gcc が必要である.
- ・ minGW のホームページ <http://www.mingw.org> から  
download > Install > mingw-get-setup.exe  
をダウンロードして実行  
注) パッケージは, mingw32-base, mingw32-gcc-g++だけでよい.

## 7. 手動でインストールする場合 (KeTTeX)

注) 他の TeX の場合は, 適宜パスを置き換える.

`C:\kettex\texlive => C:\texlive\2018 など`

- (1) `ketcindy(-master)\ketcindyfolder` を開いておく.
- (2) `scripts` フォルダの中身を以下にコピーする.  
`C:\kettex\texlive\texmf-dist\scripts\ketcindy`
- (3) `style` フォルダの中身を以下にコピーする.  
`C:\kettex\texlive\texmf-dist\tex\latex\ketcindy`
- (4) コマンドプロンプトで以下を実行する  
`C:\kettex\texlive\bin\win32\mktexlsr`
- (5) `C:\Program files\Cinderella2(.exe)` をダブルクリック
- (6) メニューから 「スクリプト」 > 「プラグインを開く」を選び, `Plugins` フォルダを開く.
- (7) `scripts\ketjava\KetCindyPlugin.jar` を `Plugins` にコピーする.
- (8) `ketcindy(-master)\forWindows\Forsettingmanually\ketcindy.ini` を `Plugins` にコピーする.  
注) 他の TeX の場合は, `ketcindy.ini` をテキストエディタで開いて修正する.
- (9) `Pugins` を閉じ, `Cinderella2` を終了する.
- (10) `work` を適当な場所にコピーして, 名前を変更する.  
注) 標準は パス: ユーザーホーム (の直下) 名前: `ketcindy`
- (11) 上の作業ディレクトリ (`ketcindy`) に `doc\ketmanual` のマニュアルをコピーする.
- (12) `forWindows` にある `ketcindy.conf` をテキストエディタで開き, 適宜修正する.
- (13) ユーザーホームにコピーして, 名前を `.ketcindy.conf` に変える.